

総合戦略進捗状況評価シート

基本目標 1. 変化しつづける温泉観光地を目指す

施 策 名	重要業績評価指標（KPI）	前期計画	当初値	目標値	実績値【R 3】	実績値【R 4】	実績値【R 5】	令和 5 年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
（1）地域ブランド調査における魅力度ランキング 10位以内（2020年 11位）										
観光客数の増加	宿泊客数	○	309万人	325万人	170万人	249万人	296万人	観光ブランドプロモーションほか	新しい旅のスタイルに適応した誘客施策に加え、旅行需要の平準化に向けた平日・閑散期対策となるビジネス利用・インバウンド誘致に取り組む。	観光経済課
インバウンドの対応	外国人観光客数		34,950人	70,000人	207人（暦年）	1,501人（暦年）	24,370人（暦年）	ITF（台湾）への出展等海外プロモーションの実施。Wi-Fi環境整備等外国人観光客受入環境整備補助事業の実施等。	海外プロモーションの推進（TSJ及び美伊豆等との連携によるプロモーション、ファム受入）	観光経済課

基本目標 2. 稼ぐ力を高めることで若者の安定した雇用を創出する

施 策 名	重要業績評価指標（KPI）	前期計画	当初値	目標値	実績値【R 3】	実績値【R 4】	実績値【R 5】	令和 5 年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
（1）市内従業者数（事業所単位） 20,000人（2016年 19,637人）										
労働力の確保	事業承継（相談）支援数（累計）	○	0件	10件	0件	3件	7件	4件相談支援を行ったが、事業承継解決は0件。	A-suppo相談業務にて支援機関と連携し、事業者の個別ケースに合わせた取組を行っていく。	観光経済課
創業支援	A-suppo熱海市チャレンジ応援センター(旧A-biz)の伴走型支援による創業及び新分野進出数	○	9件	10件	8件	4件	11件	A-suppoによる創業実績8件/相談19件、新分野進出実績3件/相談15件	創業・新分野進出とともに、相談継続中案件について実績に繋げるとともに、創業・新分野進出がゴールではなく、その後の事業継続についても引き続き支援を実施していく。	観光経済課

基本目標 3. 新しい人の流れをつくる

施 策 名	重要業績評価指標（KPI）	前期計画	当初値	目標値	実績値【R 3】	実績値【R 4】	実績値【R 5】	令和 5 年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
（1）39歳以下の社会減を50％削減（2019年 173人）										
新たな働き方の創出	サテライトオフィスの設置企業数（累計）		0件	5件	0件	0件	0件	ワーケーション施設等環境整備促進事業費補助金の交付要綱改正によりサテライトオフィスを対象外としたことから、設置企業数把握について個別の情報収集に頼らざるを得ない状況となっている。	熱海ふるさと創生事業による旧網代小学校の利活用で、2階部分をオフィス事業としてテナントオフィス入居に係る企業誘致を業務委託する。(7店舗分の貸し出しスペース)	観光経済課
滞在人口の増加	RESAS地域経済分析システム 滞在人口率（平日14時）		1.35倍（年平均）	1.40倍（年平均）	1.31倍（年平均）	1.33倍（年平均）	1.38倍（年平均）	観光ブランドプロモーションほか	新しい旅のスタイル（ビジネス利用促進等）に適応した誘客施策の促進	企画財政課 観光経済課
ふるさと納税の寄附者数の増加	ふるさと納税の寄附者数		1,707人	2,000人以上（毎年）	18,672人	4,701人	8,490人	新規ふるさと納税ポータルサイトの開設、ポータルサイト上での広告実施等による寄附者数増加の取組みを行った。	魅力的な返礼品の追加に加え、広告宣伝の実施等により寄附者増を図っていく。	企画財政課

基本目標 4. 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

施 策 名	重要業績評価指標（KPI）	前期計画	当初値	目標値	実績値【R 3】	実績値【R 4】	実績値【R 5】	令和 5 年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
（1）合計特殊出生率 1.22 ⇒ 1.35										
産み育てやすい子育て環境の充実	子育てを楽しんでいる方の割合		71.5%	75%	次回調査は令和5年度実施のため測定不能	次回調査は令和5年度実施のため測定不能	調査に関する業務委託を令和6年度に繰越したため、測定不能	地域子育て支援拠点事業として、親子ふれあいサロンを1箇所、子育て支援センターを2箇所設置し、コロナウイルス感染症が感染症法の5類になったことから制限を撤廃し、親子が交流するための事業を実施した。	引き続き、地域子育て支援拠点事業を実施し、子育て世帯を支援する事業を実施する。	社会福祉課
就労支援	保育園及び放課後健全育成事業の待機児童0人の継続		0人	0人	0人	0人	0人	保護者が希望する園へ入所できるよう、民間園とも連携し柔軟な職員配置を依頼した。	出生数や保護者の保育ニーズ等に注視し、必要な量の確保に努める。	社会福祉課 学校教育課

基本目標 5．時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

施 策 名	重要業績評価指標（KPI）	前期計画	当初値	目標値	実績値【R 3】	実績値【R 4】	実績値【R 5】	令和 5 年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
（１）生活全般の満足度　50. 0%（2019年度　43. 7%）										
安全・安心のまちづくり	地域での人との関わりについて「満足」、「やや満足」と答えた方の割合		40. 9%	50%	52%	47%	31%	自主防災会における防災資機材等の整備や防災講座等の開催により、自助・共助の取り組みの浸透を図った。	令和3年7月伊豆山土石流災害をはじめ近年多くの災害が発生していることにより、地域の安全性について不安を抱える人が多くなったと推察される。警戒避難体制や自助・共助の取り組みの周知を図る。	危機管理課
住みやすさの追求	公共施設の充足度（施設の数、種類、利用のしやすさ等）における「満足」、「やや満足」と答えた方の割合		20%	30%	市民アンケート未実施のため実績値なし	19. 8%	25%	別に定める伊豆山復興事業を除く公共施設個別施設アクションプラン（第Ⅱ期）に沿った施設改修計画を行った。	公共施設個別施設アクションプランに基づき、公共施設の適正な管理、改修を行っていく。	総務課
健康で生きがいのある暮らしの確保	お達者度の向上	○	男性17. 54	男性17. 69	男性17. 93	男性17. 87	男性17. 74	保健事業と介護予防の一体的事業によるフレイル予防や、出前講座、認知症カフェ、講演会などの開催など介護予防や認知症に関する周知、啓発に努めた。また、認知症サポーター養成講座受講者によるチームオレンジを立ち上げ、認知症の方や家族を支える体制づくりを進めた。高齢者就職セミナーや個別相談会の開催など高齢者の活躍機会の創出に努めた。	認知症サポーターのチームオレンジの協力のもと、出前講座や認知症カフェなど既存事業の拡充や強化に努める。また、地域で安心した暮らしにつながるよう、高齢者の外出支援や補聴器購入助成など、必要な施策について検討する。	長寿介護課
			女性20. 96	女性21. 03	女性21. 20	女性21. 35	女性20. 81			